

令和5年度 総会

令和5年7月25日(火) 18時00分～
会 場：京王プラザホテル 本館42階 高尾

次 第

司会進行：新宿区専修学校各種学校協会
事務局 大桃 洋
(日本電子専門学校 総務部長)

I 総 会 18時00分～18時30分

一、開会あいさつ

一、会長あいさつ

一、議長選出

一、議 事

- 1) 第1号議案 令和4年度事業報告
- 2) 第2号議案 令和4年度決算報告、監査報告
- 3) 第3号議案 令和5年度事業計画案
- 4) 第4号議案 令和5年度予算案
- 5) 第5号議案 口座名義変更について

一、閉会あいさつ

新宿区専修学校各種学校協会

第1号議案

令和4年度事業報告

1. 新宿区外国人留学生学習奨励基金 令和4年度候補者の推薦について（新宿区への協力事業）

会員校より8校8名の応募があり、当協会最大推薦人数である6校6名を新宿区に推薦した。その結果、2校2名が採用された（東京マルチ・AI専門学校、グレッグ外語専門学校新宿校）

2. 総会の開催

日 程	令和4年7月8日（金）11：00～12：00
会 場	日本電子専門学校 9号館 メディアホール
参 加 校	18校 21名
決議事項	第1号議案「令和3年度事業報告」 第2号議案「協会事業アンケート調査結果報告」 第3号議案「令和3年度決算報告」 第4号議案「任期満了に伴う理事・監事の選任」 第5号議案「令和4年度事業計画案」 第6号議案「令和4年度予算案」

3. 新年会の開催

日 程	令和5年1月25日（水）18：00～19：30
会 場	京王プラザホテル 44階「ハーモニー」
参 加 校	13校 19名 賛助会員校 1校 1名
来 賓	新宿区 区長 吉住 健一 様 地域振興部多文化共生推進課長 櫻本 まり子 様 しんじゅく多文化共生プラザ所長 綿貫 剛 様 教育委員会事務局次長 菅野 秀昭 様 教育委員会学校運営課長 内野 桂子 様 株式会社専門学校新聞社 営業統括 山野 直樹 様

4. 防災に関する事業

防災に関して、会員校に有益な情報を提供することを目的として、会員校の防災活動（訓練）の現状を調査し、調査結果のとりまとめを行った（結果報告別添）

5. 教育活動研究会の開催

日 程	令和5年5月26日
会 場	日本電子専門学校 9号館 メディアホール
参 加 数	会員校 12校 36名 新宿区 1名 その他 2名
テ ー マ	「外国人留学生の社会での活躍に向けて」

- 内 容
- 1) 基調講演
東京商工会議所新宿支部 前事務局長 森 まり子 様
 - 2) シンポジウム（登壇者）
 - ・東京商工会議所新宿支部 前事務局長 森 まり子 様
 - ・新宿区文化観光産業部 消費生活就労支援課
消費生活就労支援係 係長 森 厚志 様
 - ・友国際文化学院 教務主任 鎌田 亜紀子 様
 - ・東京外語専門学校 前理事長 武田 哲一 様
 - ・日本電子専門学校 校長 船山 世界 様
 - ・新宿区専修学校各種学校協会 会長 多 忠貴

※概要、実施後アンケート調査別添

令和5年7月25日
新宿区専修学校各種学校協会
事務局

新宿区専修学校各種学校協会事業 防災に関するアンケート調査 結果報告書

1. 目的

本調査は、新宿区専修学校各種学校協会の事業において、会員校が防災に対し現状どのような意識を持っているかを確認するとともに、今後の防災対策に関する意識を促進するべく課題や他の学校の取組等を協会内で共有する為に行った。

2. 調査期間

令和5年3月10日～令和5年4月4日

3. 調査対象

新宿区専修学校各種学校協会 会員校

4. 調査方法

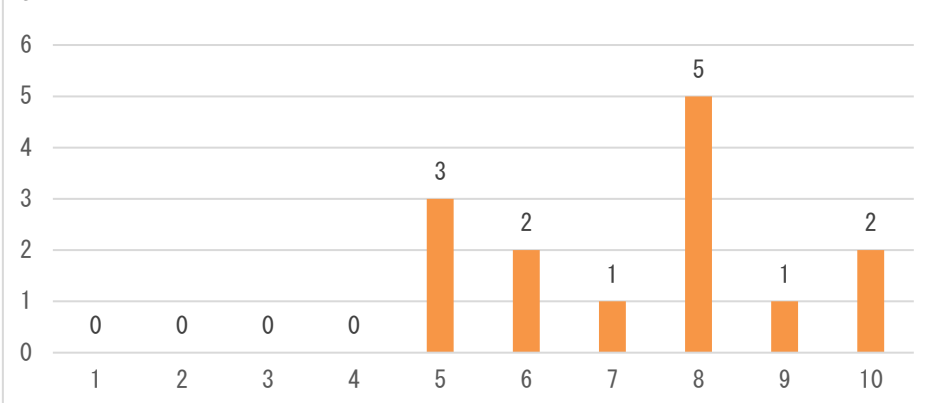
Google フォームの URL をメールにて配信

5. 回答状況

14 件（会員校 31 校中 14 校） 回収率：45.2%

【アンケート結果】

Q1. 防災に対する関心度合い（14件の回答）



平均値 7.36

〈テーマ1〉 防災訓練について

Q2. 学校内で防災訓練を行っていますか（14 件の回答）

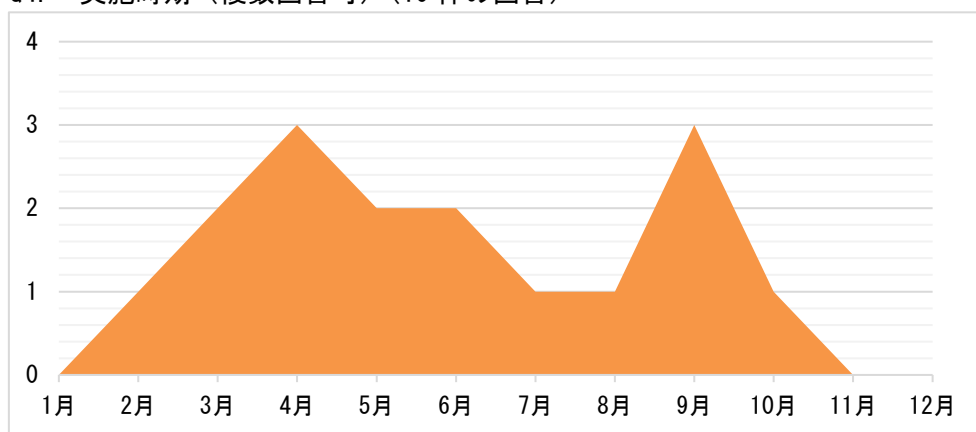
	回答件数	割合
1. 学生のみ実施	1	7.1%
2. 教職員のみ実施	1	7.1%
3. 学生、教職員ともに実施	8	57.1%
4. 実施していない	4	28.6%

◆防災訓練を「実施している」と回答した学校

Q3. 年間実施回数（10 件の回答）

1. 1 回	8	80.0%
2. 2 回以上	2	20.0%

Q4. 実施時期（複数回答可）（10 件の回答）



Q5. 防災訓練の内容（複数回答可）（10 件の回答）

実際の災害を想定した避難訓練	9	90.0%
避難経路の確認	9	90.0%
消火器の使い方	7	70.0%
防災設備（非常放送等）の点検	7	70.0%
学生、教職員の安否確認	6	60.0%
防災備蓄品の確認	5	50.0%
マニュアルの検証	4	40.0%
防災研修を受講する	2	20.0%

└その他、実施している防災訓練

- ・ 防災館にて研修（1 件）
- ・ 通報訓練、AED 講習、救護講習（1 件）

Q6. 防災訓練を実施するにあたっての課題（5件の回答）

- 全校生徒参加の避難訓練を実施したいが規模が大きくなるので中々計画ができない。
- 当日の欠席者対応
- コロナ禍により、密にならないための工夫
- 教職員訓練の方法や時期、特に教員は授業期間外に行う必要があり一斉に実施することが難しくスケジュール設定が難しい
- 通常の授業日での実施が難しく、学園祭準備日等の実施にせざるを得ない為に、学生参加者が限定的である。

◆防災訓練を「実施していない」と回答した学校

Q7. 防災訓練を実施していない理由（4件の回答）

実施したいが年間行事に組み入れる余裕がない	3	75.0%
実施体制が整っていない	1	25.0%

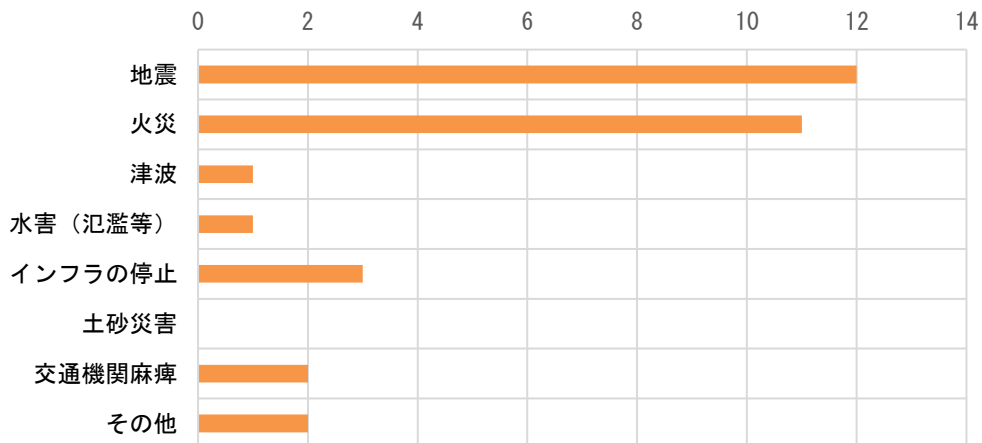
〈テーマ2〉 マニュアルについて

Q8. 防災（災害）対策等の教職員用マニュアルを作成しているか（14件の回答）

1. 作成している	11	78.6%
2. 作成していない	3	21.4%

◆マニュアルを「作成している」と回答した学校

Q9. マニュアルで想定している事態（複数回答可）（12件の回答）

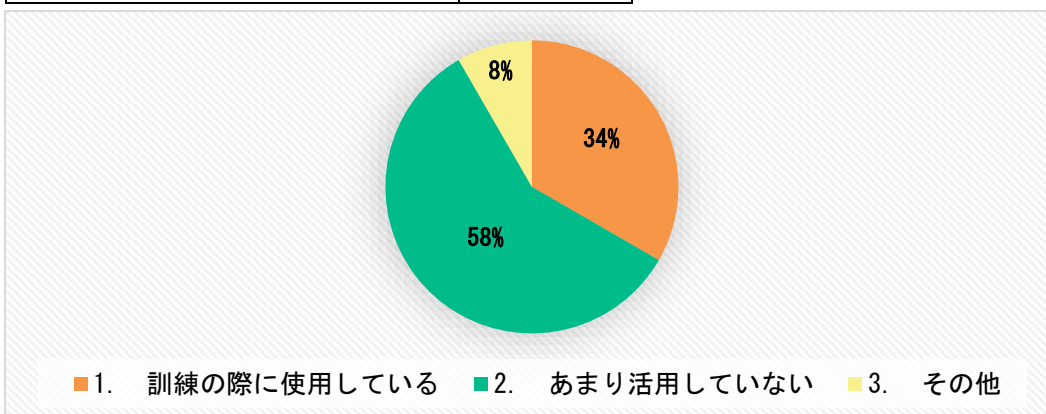


↳その他

- ・不審者

Q10. マニュアルの活用状況（12件の回答）

1. 訓練の際に使用している	4
2. あまり活用していない	7
3. その他	1

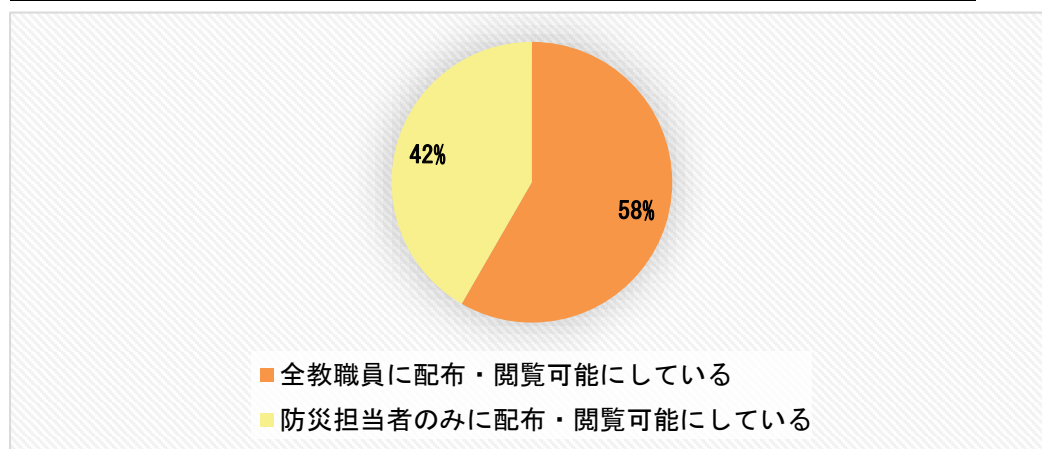


↳その他

- ・現在は避難訓練を実施していないが教職員・学生が閲覧できるようにガイダンス等で周知している。

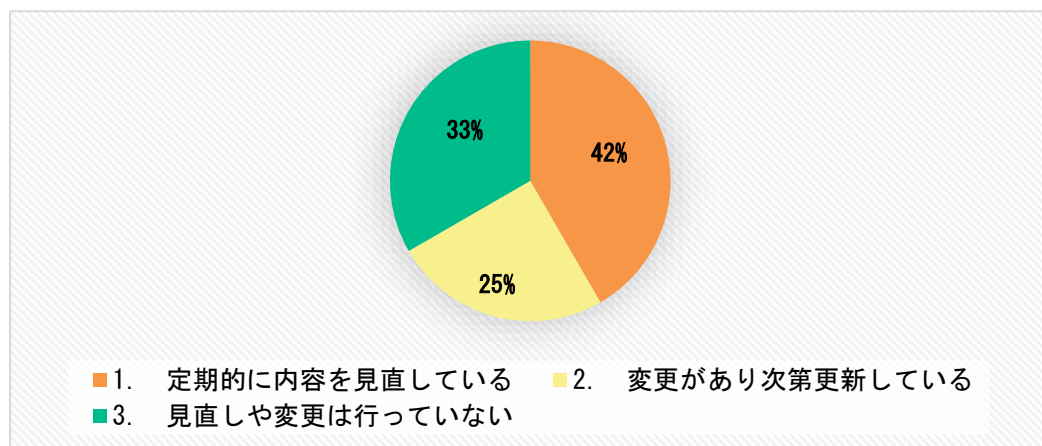
Q11. マニュアルの周知状況（12 件の回答）

全教職員に配布・閲覧可能にしている	7
防災担当者だけに配布・閲覧可能にしている	5



Q12. マニュアルの更新状況（12 件の回答）

1. 定期的に内容を見直している	5
2. 変更があり次第更新している	3
3. 見直しや変更は行っていない	4

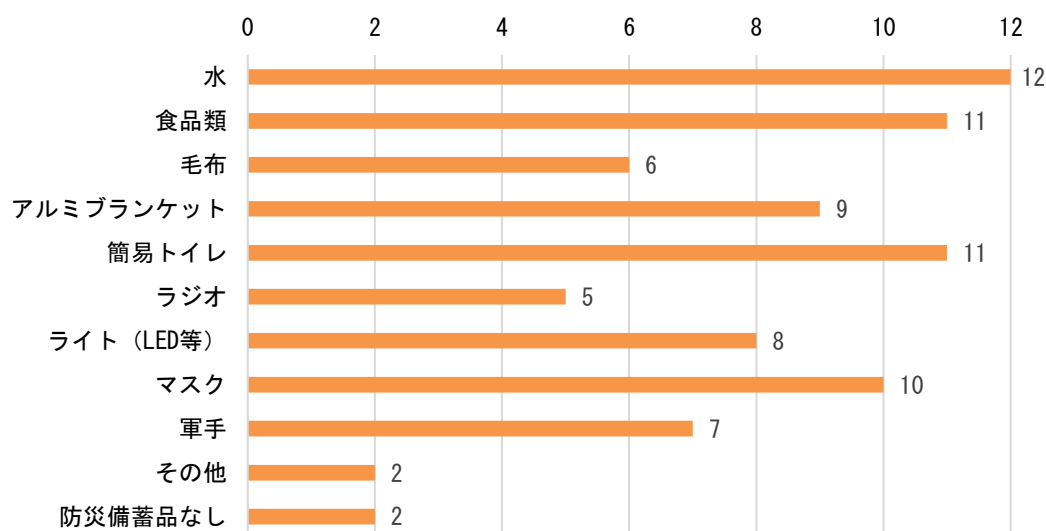


◆マニュアルを「作成していない」と回答した学校

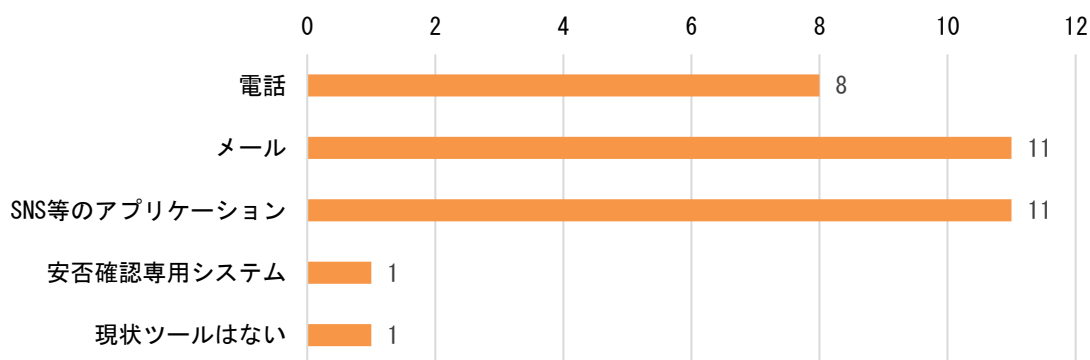
Q13. マニュアルを作成していない理由（4 件）

	回答件数	割合
1. 作成方法が分からない	1	25.0%
2. 制作体制が整っていない	1	25.0%
3. 作成する必要がある	2	50.0%

Q14. 管理している防災備蓄品の種類（複数回答可）（14 件の回答）



Q15. 学生、教職員の安否確認ツール（複数回答可）（14 件の回答）



Q16. 安否確認に関する課題（7 件の回答）

- 安否確認ツールを、これと決めていない
- SNS 端末がある前提であること
- 決まったシステム導入ができていないため、各部署各クラスにお任せになっているのが現状である。また、そのような状況のため訓練の際の適切な指導ができていない。
- 現状のツールが実際の災害時にどれほど有効に機能するのか不安。
- 安否確認専用システム/サービスを利用検討しているが、学校側での登録作業などがあるため業務増加の懸念があり着手できていない。
- 立派なマニュアルはあるが、それを教職員がしっかり認識していると言い難い。
- 学生、教職員各人への確認、および学生保護者への報告・連絡において、ネット環境や電話回線などの通信状況が必ずしも担保されているわけでは無い事。

【回答協力校】※回答順

- ・ 東京医療専門学校
- ・ 新宿日本語学校
- ・ 高山美容専門学校
- ・ 東京 YMCA 国際ホテル専門学校
- ・ 東京美容専門学校
- ・ 日本美容専門学校
- ・ 早稲田外語専門学校
- ・ 東洋美術学校
- ・ 日本医学柔整鍼灸専門学校
- ・ 日本美容専門学校
- ・ 早稲田美容専門学校
- ・ 東放学園映画専門学校
- ・ 東京外語専門学校
- ・ 日本電子専門学校

教育活動研究会

新宿専各／教育活動研究会

森氏（東商新宿支部）基調講演で持論展開

「留学生の活躍」テーマにシンポも

新宿区専修学校各種学校協会（多志貴会長）の「教育活動研究会」が5月26日、東京・新宿区百人町の日本「研究会」は、会員校への



多 志貴会長



森まり子氏



活発な意見が交わされたシンポジウム
東京・新宿区百人町の日本電子専門学校で

情報提供・共有、相互理解の促進が目的。今回は「外国人留学生の社会での活躍に向けて」をメインテーマに基調講演のほか、行政や各校における取り組みと実例を共有して教育活動の一助とするシンポジウムを繰り広げた。

開会で多志貴氏は「新宿区は都内で最も日本語学校が多い。また多くの留学生が専門学校で自身の夢や希望を実現しようと学び、少子高齢化の進む日本を支える貴重な人材として期待されている。彼らが広く社会で活躍していくために私たちがするべきことを考えていきたい」とあいさつした。

まず、東京商工会議所新宿支部の前事務局長として企業支援や地域振興に携わった森まり子氏が基調講演を行った。森氏はコロナによって影響を受けた新宿区内の飲食・宿泊などのサービス業をはじめ、老舗企業の倒産について言及。一方で二入の増加する小売関連産業における人手不足に触れ、中小企業政策や創業支援に係る助成について説

明した。また、留学生及び労働者の窓口相談やトラブル、オーナーとして活躍する外国人経営者の事例も紹介。さらに「中小企業への施策は手厚いが、労働者の目標としては優しくない」と指摘した。その上で、「ワーカーとして技術を身につけることはもちろん、将来は経営者としての道もめざしてほしい」と持論を展開した。

このあとのシンポジウムは、多志貴氏が司会進行を務め、基調講演を行った森まり子氏、新宿区文化観光産業部の森厚志氏、友国際文化学院教務主任の鎌田亜紀子氏、東京外語専門学校前理事長の武田哲一氏、日本電子専門学校校長の船山世

界氏が登壇。コロナ禍の授業や学生支援、入国制限その後の緩和における変化などについて意見を交わした。鎌田氏は「最近の入学者が全体的に回復し、コロナ前に戻った印象がある。日本が好きで、留学に価値や意義を感じている留学生が以前よりも増したように感じる。卒業後は上級学校に進学するのが当然だったことが、入学当初から就職を希望する学生が多くなった」と述べた。また船山氏は、留学生には技術の習得に加

え、日本語コミュニケーション能力が求められているとした上で「日本語特別講座や就職試験対策を実施し、能力の強化を図っている」と母校の取り組みを語った。

また、構成員を務める多志貴氏が教育未来創造会議の提言「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」に触れ、質の高い専門学校の認定制度の創設やその卒業生等の在留資格の運用見直しの具体的方策を説明。留学生の在留資格の在り方に長く関わってきた武田氏は新制度について「専門学校に特化した就労拡大に結びつき、教育の高度化、国際通用性の観点からも大きな成果を期待する」と話した。

一方、森厚志氏は「日本で就職し、働き続けたいと思ってもらえる生活環境の整備、留学生の活躍の場を創出する産官学の連携が重要。外国人向けに提供できる事業や情報を発信していく」という考えを示した。

令和 5 年 7 月 13 日
新宿区専修学校各種学校協会
事 務 局

新宿区専修学校各種学校協会事業アンケート調査 結果報告書

1. 目的

本調査は、令和 5 年 5 月 26 日に開催した新宿区専修学校各種学校協会令和 4 年度事業「教育活動研究会」～外国人留学生の社会での活躍に向けて～について、参加者の感想や意見を聞くとともに、今後、当協会にどのような取り組みを期待しているかを調査し、先の活動の参考にすることを目的としている。

2. 調査期間

令和 5 年 6 月 2 日～令和 5 年 6 月 15 日

3. 調査対象

新宿区専修学校各種学校協会会員校・賛助会員校 及び 新宿区専修学校各種学校協会令和 4 年度事業「教育活動研究会」の参加者

4. 調査方法

Google フォームの URL をメールにて配信

5. 回答状況

アンケート回答数：24 件

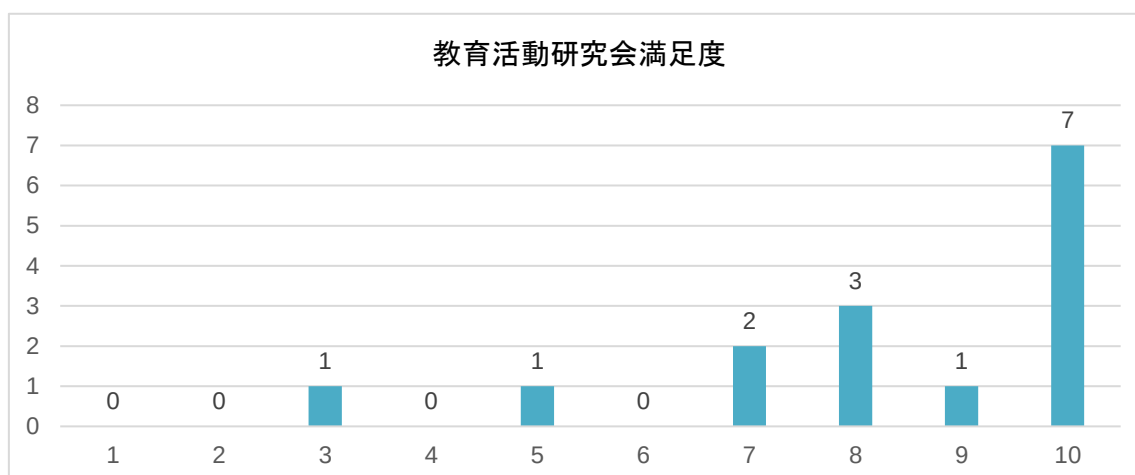
【アンケート結果】

Q1. 参加状況

参加した	15
参加しなかった	9

Q2. 「教育活動研究会」の満足度（15 件の回答）

満足度平均値 8.33（小数点以下第二位四捨五入）



└ Q2 で選択した値の理由（13 件の回答）

満足度 “3” 回答者

留学生担当になり初めて参加したが、全体的に良く分からなかった。

満足度 “5” 回答者

参加時にはもっと具体的に踏み込んだ話をお聞きしたかったと思いました。

満足度 “7” 回答者

第 1 部の基調講演の内容がとてもよく、もう少し時間を延ばして現場の話を書きたかった。

満足度 “8” 回答者

コロナ過での各学校の状況など参考になった。

コロナ禍から今後についての留学生対応に関する話しがとても現実的で為になった。

もう少し時間に余裕を持っても良いと感じた。

満足度 “9” 回答者

外国人留学生に関する現状をしることができた。

満足度 “10” 回答者

留学生への対応の仕方の工夫が勉強になった。

講演やシンポジウムで様々な立場の方から、留学生に関する話や思いを聞くことができ、有意義な時間でした。

留学生が今後の日本を支える大事な人材であることを理解することができました。

「自分から外に出ていかないと、外の情報は入ってこない」ということを身に沁みて感じました。東京商工会議所の取り組みについて、これまで考えたことも、知ろうと思ったこともなかったので（お恥ずかしい限りですが）、基調講演での森まり子さまのお話は非常に学びが多かったですし、自身の教育観を見つめ直すきっかけにもなりました。

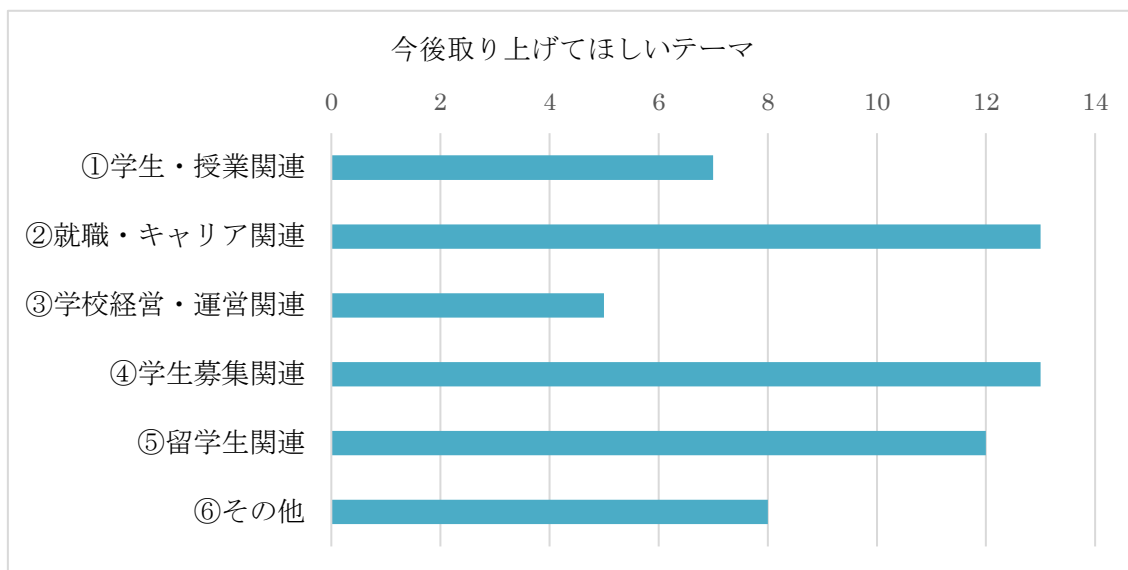
「新宿区で今何が起きているか」を丁寧にお話しいただけたこと、考える機会をいただけたことは非常に有難いことだと思っています。

パネルディスカッションが良かった
企業・日本語学校・専門学校・行政より、行っている教育及び就職活動について知ることが出来たため

Q3. 印象に残った点（12件の回答）

- ・就職するのに身に付けてほしいこと。
- ・日本語学校の先生の話しで卒業後、進学だけでなく、就職することを視野に入れた役割になっていくということ。
- ・留学生が起業するケースが意外と多いと言う点が印象に残っています。
- ・外国人留学生に求める資質・スキルで、森氏が「説明する力」「リスクマネジメント」を挙げられたこと。
- ・どの業界も人手不足。
- ・日本語学校で進学するより、就職希望者が多いこと
- ・当校でも最近日本語学校卒業後、すぐに就職したいという希望が増えています。今回の研究会では業界的にそのような傾向が増えているということを知ることができました。今後、産官学でどのような連携ができるのか、その部分を検討していかなければならないという点が印象に残っています。このようなお話を聞き、地域や企業との連携を重視して学生のニーズにこたえられるような学校づくりをしていきたいと思いました。
- ・基調講演で新宿区内の具体的なお話をされていた点が印象に残りました。
- ・簡条書きで失礼いたします。
 - 留学生の企業に関するお話（留学生にどんどん起業してもらいたいと考えている／東京商工会議所で起業の相談に乗る／自治体からの起業支援が受けられる）
 - IT産業・デジタル産業の現状
 - 産官学連携の重要性
 - 日本電子専門学校の職員の方々のお気遣いが素晴らしく、印象が非常に良かったこと
- ・パネルディスカッションでの各立場からの様々な意見等を確認できたことがとてもよく印象に残っています。
- ・多理事長のご尽力により専門学校卒業の留学生の就労ビザ審査基準が大学卒業留学生と同等になった点が印象的でした。

Q4. 今後の「教育活動研究会」に希望するテーマ（複数選択）（23 件の回答）



└その他（自由記述）

災害時や防災の区内教育機関連携と行政との関わり
AI の教材ソフトに関しての導入
1〜4 の項目で経験値を上げているところなので特にありません。
防災関連
外国人が就職後の文化や生活習慣による軋轢や解決の事例等
留学生と地域社会との関わり
地域と繋がりたいと常々思っているのですが、窓口というか繋がりが分からないので、「地域と繋がる！」というテーマでお話を伺ったり、話し合いができれば嬉しいです。
地域交流、防犯関連

Q5. 開催希望時期

・ 第一希望 (24 件の回答)

希望	件数
1 月	2
2 月	1
3 月	0
4 月	0
5 月	7
6 月	8
7 月	1
8 月	3
9 月	0
10 月	1
11 月	0
12 月	1

・ 第二希望 (15 件の回答)

希望	件数
1 月	1
2 月	0
3 月	0
4 月	0
5 月	3
6 月	4
7 月	1
8 月	0
9 月	1
10 月	0
11 月	5
12 月	0

Q6. 「教育活動研究会」に関する質問 (1 件の回答)

・ 質問はありません。基調講演もシンポジウムでのみなさまのお話も、非常に丁寧で分かりやすく、大変勉強になりました。

Q7. その他の意見や要望 (5 件の回答)

・ 多会長の今後のご活躍に期待しております。

・ 出張中のため、お伺いできず失礼いたしました。鎌田がお世話になりました。ありがとうございました。

・ 貴重な講演、シンポジウムを有難うございました。

・ 当校では「留学生の就職」の部分強化していきたいと考えている所でしたので、今回の研究会は非常に有意義なものとなりました。

今回参加させていただき、日本社会で活躍する外国人を増やすために、日本語学校と地域社会のつながりは今後より重要になってくると思いました。日本の就活について留学生側が、外国人採用に関して企業側がより深く理解していくことが必要だと思いますし、その架け橋として日本語学校ができることがあると思いますので、その役割を担っていくためにどうすればいいのかという点について考えさせられました。今後も今回のような教育活動研究会でいろいろな勉強ができたらと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

・ 次回もぜひ参加させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【回答協力校】

東京ノアランゲージスクール
東京マルチ・A I 専門学校
東放学園映画専門学校
高山美容専門学校
東京外語専門学校
友ランゲージアカデミー
専修学校早稲田予備学校
東洋美術学校
早稲田美容専門学校
日本児童教育専門学校
日本福祉教育専門学校
マリールイズ美容専門学校
東京美容専門学校
日本医学柔整鍼灸専門学校
東京 YMCA 国際ホテル専門学校
ユニタス日本語学校東京校
新宿医療専門学校
友国際文化学院
日本電子専門学校

第2号議案

新宿区専修学校各種学校協会

令和4年度 収支決算書
(令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差額	摘 要
入会金	0	0	0	
年会費 (会員)	480,000	480,000	0	15,000×32校
年会費 (賛助会員)	15,000	15,000	0	5,000×3校
懇親会費	300,000	0	300,000	コロナの為未実施
新年会費	300,000	240,000	60,000	
受取利息	0	19	-19	普通預金利息
繰越金充当	480,000	0	480,000	
合計	1,575,000	735,019	839,981	

支出の部

科目	予算額	決算額	差額	摘 要
懇親会費	500,000	0	500,000	コロナの為未実施
新年会費	500,000	390,000	110,000	
事業費	200,000	0	200,000	
通信費	40,000	17,506	22,494	郵送、切手、葉書
消耗品費	60,000	6,524	53,476	クリアホルダー、帳票用紙、総会用飲料水
雑費	30,000	24,230	5,770	新宿区新聞広告掲載、ロッカー利用料、振込手数料
租税公課	5,000	0	5,000	
交際費	50,000	0	50,000	
予備費	50,000	0	50,000	
会議費	50,000	0	50,000	
ホームページ運用費	90,000	59,884	30,116	レンタルサーバー、ホームページ修正2回
合計	1,575,000	498,144	1,076,856	

令和3年度繰越金 1,944,639 円 + 令和4年度収支差額 236,875 円 = 令和4年度繰越金 2,181,514 円

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします

監 事

令和 5 年 7 月 19 日
小倉規布佳 印

第 3 号議案

令和 5 年度事業計画（案）

1. 新宿区外国人留学生学習奨励基金 令和 5 年度候補者の推薦
2. 総会の開催
令和 5 年 7 月
3. 教育活動研究会の開催
(情報共有と相互理解を促進する為の事業を行う) ※内容は別途検討
4. 防災事業の継続
(令和 4 年度のアンケート調査結果を踏まえ、防災の講習会や勉強会等の実施を検討する)
5. 新年会の開催
令和 6 年 1 月

第4号議案

新宿区専修学校各種学校協会 令和5年度収支予算案

(自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	令和4年度予算	令和5年度予算	差額	摘 要
年会費（会員）	480,000	480,000	0	15,000×32校
年会費（賛助会員）	15,000	15,000	0	5,000×3校
懇親会費	300,000	300,000	0	10,000×30名
新年会費	300,000	300,000	0	10,000×30名
繰越金充当	480,000	0	480,000	
合 計	1,575,000	1,095,000	480,000	

支出の部

科 目	令和4年度予算	令和5年度予算	差額	摘 要
懇親会費	500,000	350,000	150,000	
新年会費	500,000	350,000	150,000	
事業費	200,000	150,000	50,000	
通信費	40,000	20,000	20,000	郵送、切手、葉書
消耗品費	60,000	25,000	35,000	封筒、文具消耗品
雑費	30,000	30,000	0	広告掲載費、交通費、振込手数料
租税公課	5,000	0	5,000	
交際費	50,000	30,000	20,000	お祝い金、慶弔金など
予備費	50,000	50,000	0	
会議費	50,000	30,000	20,000	
ホームページ運用費	90,000	60,000	30,000	レンタルサーバー費、ホームページ更新費（2回予定）
合 計	1,575,000	1,095,000	480,000	

令和5年度 懇親会

開催日：令和5年7月25日（火）

時 間：18時40分～20時00分

会 場：京王プラザホテル 42階 【高尾】

次 第

司会進行：新宿区専修学校各種学校協会

事務局 大桃 洋

（日本電子専門学校 総務部長）

一、開会あいさつ（司会）

一、会長あいさつ

一、来賓祝辞（新宿区長）

一、来賓紹介

一、乾杯

一、初参加者紹介（会員校・賛助会員校）

一、締め

新宿区専修学校各種学校協会